

# 講習会

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
昭和55年度 第1回	省エネルギーの考え方と実際	S55/10/13 大阪	70	①省エネルギーの考え方 ②省エネルギー法とその活用について ③省エネルギー技術としてのヒートポンプ ④鉄鋼業の省エネルギー事例 ⑤化学工場における省エネルギーとその考え方 ⑥家電商品の省エネルギー化の取り組みについて	横浜国大 高橋 正雄 資源エネ庁 藤井 隆宏 日立造船 古川 哲郎 神戸製鋼 小堺 和泉 住友化学 馬場 進 松下電産 北瀬 弘光
昭和56年度 第1回	資源循環と省エネルギー	S56/10/29 大阪	55	①資源・エネルギー節約型社会への移行 ②ローカルエネルギー開発の現状と将来 ③都市廃棄物処理の新しい方向 ④都市ごみと下水の総合処理システム ⑤古紙回収再利用システムについて ⑥アルミ缶の回収と省エネルギー効果	大阪大 鈴木 胖 新エネ財団 堀 義孝 大阪市環境科研 本多 淳裕 京都大 武田 信生 大阪府立工技研 吉田 総夫 京都大 高月 紘
第2回	新エネルギー開発に関する講習会	S57/2/18 東京	125	①石炭の流動層燃焼 ②石炭のガス化 ③太陽熱利用による冷暖房システム ④バイオマス利用 ⑤地熱エネルギーの多目的利用 ⑥LNG冷熱利用システム ⑦太陽光利用システム	パブ日立 寺田 博 石川島播磨 山本 久敬 早稲田大 木村 建一 野口研究所 鈴木 明 防衛大学校 関岡 満 東京ガス 鈴木 一成 大阪大 浜川 圭弘
昭和57年度 第1回	新エネルギー開発の現状と将来	S57/10/21 大阪	94	①見通しの出てきた太陽光発電技術 ②太陽エネルギー利用の現状と将来 ③実用化が期待される燃料電池 ④地熱エネルギー開発の現状と将来 ⑤海洋温度差発電の現状と将来 ⑥バイオマスと廃棄物利用における諸問題 ⑦核融合開発の現状と将来	大阪大 浜川 圭弘 シャープ 外村 俊弥 大阪工試 高橋 祥夫 日本重化学 中村 久由 東京電力 伊藤 文夫 大阪府大 矢吹 萬寿 京都大 宇尾 光治
第2回	省エネルギー技術の現状と将来	S58/2/17 東京	78	①省エネルギー技術の展望 ②化学工業における省エネルギー技術 ③建築における省エネルギー技術 ④家電品における省エネルギー技術 ⑤セメント工業における省エネルギー技術 ⑥繊維工業における省エネルギー技術 ⑦鉄鋼業における省エネルギー技術 ⑧自動車製造業における省エネルギー技術	京都大 国友 孟 三菱油化 北尾 建 大林組 酒井 寛二 日立製作所 埋橋 英夫 小野田セメント 上田 禎彦 東洋紡績 小野 禎造 新日鉄 村田 裕司 トヨタ自動車 森田 真昭
昭和58年度 第1回	熱の有効利用技術	S58/10/19 大阪	76	①加熱炉における最近の熱利用技術の動向 ②電算機利用による熱需給システムの合成の一方法 ③ヒートパイプとその利用技術 ④セメント製造プラントからの廃熱回収について ⑤吸収ヒートポンプの現状 ⑥吸収冷温水機による省エネルギー技術 ⑦潜熱蓄熱技術の開発動向	京工繊大 若松 盈 京都大 高松武一郎 東北大 宍戸 郁郎 タクマ 林 重利 川崎重工 大岡 憲司 東京三洋電機 佐野 真 三菱電機 甲斐潤二郎
第2回	エネルギー・資源開発の今後の動向	S59/2/14 東京	70	①日本のエネルギー・資源政策 ②LNGの多目的利用 ③輸送機関用燃料と石炭液化の将来 ④新型電池による電力貯蔵システム ⑤蓄熱 ⑥希少金属資源の資源状況と備蓄の展望 ⑦資源探査技術の動向	資源エネ庁 松田 泰 東京ガス 日馬 明雄 東京大 富永 博夫 電総研 小沢 丈夫 化学技研 秋谷 鷹二 住友金属工 諏訪 晃 東京大 石井 吉徳

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
昭和59年度 第1回	断熱と省エネルギー	S59/10/24 東京	60	①省エネルギーにおける断熱の役割 ②断熱の考え方 ③熱伝導率、伝熱量の測定法 ④建築における断熱技術と省エネルギー ⑤核融合炉における伝熱と断熱 ⑥工業炉における断熱技術 ⑦低温断熱技術と省エネルギー	新日本空調 千葉 孝男 東京大 棚沢 一郎 静岡大 荒木 信幸 建材試験センター 岡 樹生 日本原研 小林 武司 中外炉工業 村上 弘二 千代田化工 大川 治
第2回	新しいエネルギー技術	S60/2/15 大阪	67	①石炭のガス化:現状と問題点 ②燃料メタノール ③燃料電池 ④熱併給発電の概要 ⑤熱併給発電 ⑥100kW級工場用光発電システム ⑦核融合	東農工大 平戸 瑞穂 東京大 富永 博夫 大阪工試 児玉 皓雄 大阪大 鈴木 胖 大阪ガス 片山 紘一 松下電池 室園 幹夫 名古屋大 内田岱二郎
昭和60年度 第1回	エネルギーの有効 利用技術	S60/10/29 大阪	70	①新しいガス燃焼技術 ②熱交換技術の最近の動向 ③蓄熱技術の最近の動向 ④産業間等の廃熱利用 ⑤最近のごみのもつエネルギーの有効利用技術 ⑥最近のヒートポンプエアコン ⑦高効率ガスタービンの研究開発について	大阪ガス 豊永 肇 京都大 荻野 文丸 東工大 斎藤 彬夫 大阪大 鈴木 胖 日立造船 藤井 達宏 東芝 大泉 富重 高効率ガスタービン技術研究組合 歌川 正博
第2回	新エネルギーの動 向	S61/2/12 東京	95	①主要国の新エネルギー政策と新エネルギー開発の動向 ②石炭液化の現状と将来展望 ③次世代原子炉の展望 ④わが国におけるリン酸型燃料電池の開発動向 ⑤コージェネレーションの展望 ⑥太陽光発電の現状と将来展望 ⑦海洋エネルギー利用と海洋開発	NEDO 今野 国輔 NEDO 照沼 清 東京大 若林 宏明 NEDO 永島 正明 東京大 平田 賢 大阪大 浜川 圭弘 東京大 前田 久明
昭和61年度 第1回	エネルギーシステムの 新しい展開	S61/10/29 東京	58	①エネルギーシステムの動向 ②ガスエンジンヒートポンプシステム ③コージェネレーションシステム ④太陽光発電利用システム ⑤省エネルギービル ⑥需要管理と情報通信技術	東京大 茅 陽一 東京ガス 小倉 正雄 東京大 平田 賢 NEDO 松本 純治 早稲田大 木村 建一 電中研 福留 渥
第2回	新エネルギー技術	S62/2/17 大阪	53	①核燃料サイクル ②燃料電池の開発の現状 ③コージェネレーションシステム ④太陽電池 ⑤磁気浮上鉄道 ⑥これからの電気自動車	関西電力 三木 理志 大阪ガス 橋本 昌 日本システム開発研 垣田 行雄 三洋電機 中野 昭一 住友電気 川島 真生 国立公害研 清水 浩
昭和62年度 第1回	高温超電導材料と そのインパクト	S62/9/16 大阪	74	①序論 ②高温超電導材料開発の現状 ③高温超電導材料とエレクトロニクス ④高温超電導材料出現とメーカーの対処 ⑤高温超電導材料出現はいかなるインパクトと問題をもたらすか ⑥パネルディスカッション「高温超電導材料とそのインパクト」	京都大 新庄 輝也 大阪大 川合 知二 大阪大 小林 猛 住友電気 三井 勉 大阪大 村上 吉繁 鈴木胖, 平木昭夫, 新庄輝也, 川合知二, 三井勉, 小林猛, 村上吉繁
第2回	先端技術とエネル ギーシステム	S63/2/17 東京	57	①エネルギーと先端技術 ②エネルギーシステムとAI ③ロボットとエネルギーシステム ④バイオテクノロジーとエネルギーシステム ⑤新素材とエネルギーシステム ⑥超電導と電力技術	東京大 石井 威望 電中研 鈴木 道夫 極限作業ロボット技術研究組合 鷺沢 仁 野村総研 村野 文男 東京大 笛木 和雄 東京大 正田 英介

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
昭和63年度 第1回	新しいエネルギー変換技術	S63/10/12 東京	62	①ガスエンジン及びガスタービンの研究開発の最近の動向 アドバンス・コージェネ技術研究組合 ②スターリングエンジン ③太陽光発電 ④りん酸型燃料電池の開発の現状と展望 ⑤高温型燃料電池の開発の現状と動向 ⑥宇宙用原子力電源の現状と展望	岡本 洋三 山下 巖 高橋 清 佐藤 信夫 竹原善一郎 金子 義彦
第2回	地球環境問題とエネルギー・資源 —CO <sub>2</sub> フロン対策へ向けて—	H1/2/15 大阪	125	①総論 —地球温暖化問題をめぐる国際動向— ②大気の温室効果 ③CO <sub>2</sub> 問題と化石エネルギー —今後の課題を探る— ④CO <sub>2</sub> と新エネルギー技術 —CO <sub>2</sub> 循環利用への道— ⑤フロン問題の現状 ⑥温暖化関連物質の挙動 ⑦パネル討論「地球環境の未来と技術の評価」	東京大 茅 陽一 京都大 山元龍三郎 大阪ガス 水谷 勉 大阪工試 佐野 寛 シャープ 松木 健次 公害資研 山本 晋 清水建設 根上 義昭
平成元年度 第1回	都市とエネルギーシステム	H1/9/27 大阪	68	①都市とエネルギー問題 ②都市と水資源 ③都市と電力・ガス ④都市交通とエネルギー ⑤都市廃棄物とエネルギー ⑥省エネルギー都市建築 ⑦都市地下の利用	日本環境管理学会 木村 宏 芝浦工大 高橋 裕 大阪大 鈴木 胖 大阪大 紙野 桂人 京都大 平岡 正勝 大林組 塚越 東男 清水建設 根上 義昭
第2回	明日の省エネルギー技術	H2/2/15 東京	68	①省エネルギーの意義と動向 ②電力における省エネルギー ③コージェネと地域熱供給 ④エネルギー貯蔵技術と省エネルギー ⑤スーパーヒートポンプ・エネルギー集積システム ⑥自動車ガソリンエンジンの燃費改善技術	省エネセンター 逢坂 国一 東京電力 沢田 知義 東京ガス 飯田 弘文 大阪大 伊東 弘一 スーパーヒートポンプ・エネルギー集積システム技術研究組合 竹内 元 トヨタ自動車 中西 清
平成2年度 第1回	90年代のエネルギー展望	H2/11/1 東京	144	①エネルギー需給展望 ②温暖化問題の動向 ③原子力の今後 ④化石燃料の国際動向 ⑤新エネルギー技術 ⑥エネルギー有効利用	資源エネ庁 中嶋 誠 東京大 茅 陽一 東京大 鈴木 篤之 日本エネ経研 富舘 孝夫 NEDO 小川健一郎 東京農工大 柏木 孝夫
第2回	地球環境時代のエネルギー戦略	H3/2/15 大阪	99	①21世紀の日本のエネルギー状況(総論) ②地球環境問題と技術開発戦略 ③化石燃料資源量とCO <sub>2</sub> 濃度の推移 ④太陽電池と環境保全システム ⑤炭酸ガスの回収とその処理技術 ⑥CO <sub>2</sub> 回収高効率発電システム ⑦CO <sub>2</sub> リサイクルシステム	大阪工試 佐野 寛 RITE 山口 務 出光興産 志鷹 義明 三洋電機 名迫 賢二 関西電力 清原 正高 大阪大 朴 炳植 大阪工試 相馬 芳枝
平成3年度 第1回	ソーラーエネルギーの応用	H3/10/8 大阪	110	①太陽電池素子 ②太陽光発電 ③ソーラーエアコン ④ソーラープレーンによる北米大陸横断 ⑤ソーラー電池動力自動車 ⑥パッシブソーラー素子 —その現状と可能性 ⑦合理的なエネルギー利用を可能にする低温駆動ヒートポンプ	京都大 冬木 隆 関西電力 松田 弘 シャープ 沢井 啓安 三洋電機 岸 靖雄 本田技研 岩田 孝弘 名工試 種村 栄 東京農工大 柏木 孝夫

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
第2回	分散エネルギーシステム	H4/2/13 東京	99	①分散エネルギーシステム・その意義と課題 ②ガスエンジン・ガスタービン ③未利用エネルギーシステム —各種都市排熱と河川水の利用— ④リン酸型燃料電池の現状 ⑤太陽光発電システム ⑥分散エネルギーシステムと法制度	東京大 山地 憲治 東京ガス 山岸 一夫 早稲田大 石福 昭 富士電機 山川 嘉之 三洋電機 津田 信哉 エネ技研 野田廣太郎
平成4年度 第1回	エネルギー貯蔵システム	H4/10/13 大阪	100	①エネルギー貯蔵の目的 ②圧縮空気貯蔵ガスタービンシステム ③超伝導マグネットエネルギー貯蔵設備 ④電池エネルギー貯蔵システムおよび電気自動車 ⑤氷蓄熱システム ⑥化学蓄熱システム ⑦蓄熱システムの最適計画	大阪大 鈴木 胖 電源開発 川島由生雄 電総研 大西 利只 大阪工試 樋口 俊一 高砂熱学 小此木時雄 三菱電機 池内 正毅 大阪府大 伊東 弘一
第2回	地球環境問題解決へのアプローチ	H5/2/19 東京	96	①地球環境と市場競争・技術革新 ②持続可能な発展とその計測論 ③環境税について ④排出権市場について ⑤CO <sub>2</sub> 対策技術のコスト比較 ⑥経済界の取り組み ⑦地球環境対策と国際NGOSの役割	横浜国大 若杉 隆平 国環研 森田 恒幸 神戸大 天野 明弘 上智大 岩田規久男 電中研 内山 洋司 経団連 市川 博也 世界資源研 黒坂三和子
平成5年度 第1回	資源リサイクル問題の核心	H5/10/22 大阪	135	①リサイクル社会に向けて ②リサイクル問題の経緯と今後の方向 クリーン・ジャパン・センター ③廃棄物処理・リサイクルを考慮した製品アセスメントについて ④建設廃棄物(建設副産物)とリサイクル ⑤プラスチックとリサイクル ⑥家電製品とリサイクル ⑦自動車とリサイクル	大阪大 鈴木 胖 本多 淳裕 早稲田大 永田 勝也 武蔵工大 大井 昭夫 住友化学 江村 智之 日立製作所 福島 哲郎 日産自動車 羽鳥 之彬
第2回	環境にやさしい街づくり	H6/2/17 東京	83	①環境にやさしい街づくり ②地球温暖化対策地域推進計画策定費補助事業 (エコトピア計画) ③アースコンシャスシティ構想について —地球環境問題に対応した地域作り方策— ④環境調和型エネルギーコミュニティ形成促進について ⑤広域エネルギー利用ネットワークシステム革新技術(エコ・エネ都市) ⑥環境共生都市(エコシティ)構想の推進について ⑦地球環境と共生する住まいづくり	東京大 松尾 友矩 環境庁 浅井 浩 国土庁 岩田 泰 通産省 川本 和弥 通産省 吉村 佳人 建設省 山本 克也 建設省 山本 哲也
平成6年度 第1回	エネルギーにおける生物の利用	H6/11/16 東京	61	①総論 ②生体エネルギー変換の基礎 ③バイオマスエネルギー利用の可能性 ④砂漠緑化のケーススタディー ⑤植林によるCO <sub>2</sub> 相殺国際プログラム ⑥生物によるCO <sub>2</sub> 固定技術	東京大 山田 興一 生命工学工業技術研 三宅 淳 資源環境技術総合研 横山 伸也 クボタ 寺川 幸士 電中研 田辺 朋行 RITE 道木 英之

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
第2回	動き出した太陽光発電	H7/2/17 大阪	73	①太陽光発電システム普及促進の動向 ②太陽電池セル・モジュール技術の動向 ③太陽光発電システム技術の動向 ④太陽光発電用系統連系インバータ技術の動向 ⑤PVと全電化住宅 ⑥太陽光発電システムの系統連系普及拡大に向けて ⑦将来の低コスト化・高効率化に向けて	新エネ財団 山梨 晃一 シャープ 布居 徹 京セラ 岩坪 良雄 日本電池 山野 佳哉 ミサワホーム 石川 修 関西電力 中谷 眞佳 三洋電機 大西三千年
平成7年度 第1回	資源リサイクルの新たな動向	H7/11/21 大阪	93	①循環型社会に向けて ②家電製品のリサイクル ③ライフサイクルアセスメント ④ISO-14000シリーズ規格化の動向について ⑤ヨーロッパ事情1:ヨーロッパ諸国の廃棄物政策 ⑥ヨーロッパ事情2:包装材関連政令とその効果 ⑦廃棄物処理・リサイクルとその問題点	大阪大 鈴木 胖 松下電産 小寺 卓郎 三菱総研 中條 寛 三菱電機 吉田 敬史 クボタ 北條 貞宗 住友電設 井上 哲之 地球環境システム工学研 平岡 正勝
第2回	エネルギー産業規制緩和と今後の方向性	H8/2/21 東京	107	①経済的規制と社会的規制 ②電力産業の規制緩和に関する理論面の分析と課題 ③ガス産業の規制緩和に関する理論面の分析と課題 ④電気事業の規制緩和の動向と今後の方向性 ⑤都市ガス産業の規制緩和の動向と今後の方向性 ⑥石油産業の規制緩和の動向と今後の方向性	学習院大 南部 鶴彦 電中研 矢島 正之 武蔵大 横倉 尚 電事連 畔柳 昇 日本ガス協会 合田宏四郎 大和総研 伊藤 敏憲
平成8年度 第1回	資源リサイクルの最新動向と推進方策	H8/10/29 東京	70	①リサイクルの現状と対策 ②鉄鋼の需要とリサイクル ③プラスチックの需要とリサイクル ④建設とリサイクル ⑤家電製品のリサイクル ⑥リサイクルとエネルギー ⑦リサイクル促進の経済的手法 ⑧欧州諸国の先進事例	大阪大 鈴木 胖 新日鐵 森寺 弘充 日本エコラップ 原田 紘一 竹中工務店 奥田 清明 松下電産 園田 信雄 川崎重工 川真田直之 電中研 浅野 浩志 大阪大 鈴木 胖
第2回	エネルギー分野における新材料	H9/2/14 大阪	56	①電力技術の中の材料技術 ②高温超電導材料 —電力、エネルギー機器への応用に向けて— ③耐熱材料(高強度新鑄造合金、結晶制御合金、金属間化合物、セラミックス等):ガスタービンへの適用 ④高分子系複合材料の構造物への用途とインテリジェント化 ⑤電解質材料:燃料電池などに適用 ⑥高次機能調和材料の開発	東京電力 富山朔太郎 超電導工学研 腰塚 直巳 三菱重工 河合 久孝 大阪大 座古 勝 大工研 宮崎 義憲 大阪大 新原 皓一
平成9年度 第1回	本格普及へ動き出した太陽光発電	H9/10/24 大阪	94	①ニューサンシャイン計画における太陽光発電技術開発の新展開 ②太陽光発電の大量普及に向けた課題と対応 —メーカーの立場から— ③太陽光発電の需要拡大と新たな価値観の創造 ④太陽光発電大量普及時代への課題 ⑤太陽光発電システムの住宅への本格的導入 ⑥自然と人間の共生を創る太陽光発電 —ユーザーの立場から—	NEDO 本多 隆 シャープ 沢井 啓安 電中研 滝川 清 関西電力 北村 章夫 大和ハウス工業 小林 康彦 NTT 田中 良

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
第2回	環境にやさしい交通体系	H10/2/26 東京	52	①交通需要マネジメントTDMの動向と展開 ②環境にやさしい道路交通施策について ③モーダルシフトの推進について ④クリーンエネルギー自動車の普及対策について ⑤電気自動車・ハイブリッド自動車普及への取り組みについて ⑥天然ガス自動車の現状と将来展望	東京大 太田 勝敏 建設省 江橋 英治 運輸省 大高 豪太 通産省 福田 秀敬 トヨタ自動車 大川 正尋 日本ガス協会 岸田總太郎
平成10年度 第1回	気候変動枠組み条約第4回締約国会議(COP4)に向けて—地球温暖化対策の具体化をどうするか—	H10/10/26 東京	83	①総論:京都会議以後のわが国の取り組み ②気候変動の科学的知見 ③長期エネルギー需給見通しについて ④地球温暖化問題に対する産業界の取り組み ⑤地球温暖化防止のための技術戦略 ⑥メタン・亜酸化窒素の発生と削減技術 ⑦排出権取引・共同実施(CDM含む)の具体化に向けての動き	慶應義塾大 茅 陽一 国環研 西岡 秀三 資源エネ庁 宮本 武史 経団連 角脇 通正 RITE 山口 務 農業環境技研 陽 捷行 地球環境戦略研 松尾 直樹
第2回	新しい省エネルギー技術	H11/2/19 大阪	80	①省エネルギー法改正のねらいと省エネルギー政策の動向 ②産業用モータの省エネルギー技術 ③省電力デバイスとしての液晶ディスプレイ(LCD) ④パソコンの省電力技術 —Windows98/ACPI機能搭載のスリムPCシリーズ— ⑤都市ガス消費機器における省エネルギー技術 ⑥照明における省エネルギー技術 ⑦冷蔵庫における省電力技術 ⑧エアコンにおける省電力技術 ⑨住宅省エネへの取り組み ⑩自動車における省エネルギー技術 —トヨタハイブリッドシステム—	資源エネ庁 宮本 武史 三菱電機 野口 泰彦 シャープ 水嶋 繁光 東芝 栗津 浩一 大阪ガス 片山 紘一 松下電工 和田 成伍 松下冷機 石王 治之 松下電産 茂木 仁 積水ハウス 岡本美佐雄 トヨタ自動車 八重樫武久
平成11年度 第1回	エネルギーサービス事業“ESCO”とそれを支える省エネルギー技術	H11/10/7 東京	112	①挨拶 ②ESCOとわが国での事業成立性の見直し ③工場におけるESCO事業の展開 ④日本初のESCO事業の展開 ⑤機器メーカー系ESCO ⑥制御系ESCO ⑦建物の環境負荷2分の1を目指して ⑧ガスアンドパワーESCOへの取り組み ⑨電気事業系ESCOの可能性	省エネセンター 橋本 城二 住環計研 中上 英俊 東京電機大 高村 淑彦 ファーストエスコ 筒見 憲三 日立 坂内 正明 山武ビルシステム 須田 文隆 日建設計 松縄 堅 ガスアンドパワー 紫藤 悦雄 東京電力 田中 俊彦
第2回	エネルギー負荷平準化対策	H12/3/7 大阪	70	①なぜエネルギー負荷平準化か(総論) ②電力における負荷平準化への取組み ③ガスにおける負荷平準化への取組み ④地域熱供給システムの取組み ⑤民生(建物)における負荷平準化対策 ⑥蓄熱空調システムの形式と特徴 ⑦これからの負荷平準化方策 ⑧自動車ガソリンエンジンの燃費改善技術	摂南大 鈴木 胖 関西電力 野村 眞 大阪ガス 松本 毅 日建設計 加藤 晃 大林組 佐々木 武 高砂熱学工業 小此木時雄 電中研 浅野 浩志 東京大 山地 憲治

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
平成12年度 第1回	環境とビジネス(Ⅰ)	H12/10/5 東京	58	①環境ビジネスの現状と展望 ②欧米企業の環境経営と企業戦略 —欧米トップ企業が目指すグローバルスタンダード— ③企業活動における環境リスクヘッジ ④環境問題から見た企業活動と訴訟 ⑤わが国の環境コンサルティング市場の成り立ちとその動向	三菱総研 小西 時男 野村証券 尾坂 拓也 AIU 大岡 健三 弁護士 佐藤 泉 エックス都市研 青山 俊介
第2回	環境とビジネス(Ⅱ)	H13/2/21 大阪	54	①環境とビジネスの将来展望 ②産業廃棄物処理分野における現状の取組と将来展望 ③大阪ガスにおける環境会計の取り組みと課題 ④生活環境情報の流通に向けて ⑤IBM製品の環境アセスメント ⑥産業分野に於ける環境ビジネスの可能性 —資源循環型エコノファーム社会コンソーシアムの活動を通じて—	日立造船 掛田 健二 全国産業廃棄物連合会 大塚 元一 大阪ガス 渡部 徳博 NTT 岸本 亨 日本IBM 二木 慎二 富士経済 岸浦 明信
平成13年度 第1回	循環型社会におけるリサイクル市場と技術	H13/10/17 大阪	54	①循環型社会における廃棄物の資源化・エネルギー化 ②リサイクル社会の産業構造変化 ③グリーンマーケットとエコプレミアム ④富士ゼロックスにおける資源循環システム ⑤セメント産業における廃棄物リサイクルの現状について ⑥プラスチック類の高性能分離技術とリサイクル利用	京都大 武田 信生 三菱総研 小西 時男 インテージ 桜木 祐之 富士ゼロックス 渡辺 富夫 住友大阪セメント 田村 和男 日立造船 前畑 英彦
第2回	天然ガスからの液体燃料(GTL)への期待	H14/2/21 東京	75	①総論:天然ガスからの液体燃料(GTL)の市場性 ②アジアの天然ガス資源量の特徴 —中小規模ガス田 ③自動車排ガス規制と燃料品質規制の動向と展望 ④GTL製造技術の現状と将来展望 ⑤DME製造技術の現状と将来展望 ⑥自動車燃料としての合成燃料の位置付け ⑦LPG, DMEの法規制, 流通面の課題	エネ経研 小川 芳樹 帝国石油 栗村 英樹 石油連盟 西川 輝彦 日揮 岩井龍太郎 NKK 大野陽太郎 トヨタ自動車 星 博彦 出光ガスアンドライフ 田村 英樹
平成14年度 第1回	これからの分散型エネルギーシステム	H14/10/28 東京	92	①分散エネルギーシステムへの期待と課題 ②電力ネットワークと分散型電源 ③再生可能エネルギー資源の利用:廃棄物バイオマスを中心に ④家庭用ガスコージェネレーション ⑤内燃機関によるコージェネレーション ⑥エネルギーマネジメントビジネスにおける分散型電源のポジション ⑦電力市場・IT・分散型エネルギー資源の将来	東京大 山地 憲治 横浜国大 大山 力 鹿島 後藤 雅史 大阪ガス 平野 茂樹 ヤンマー 中園 徹 日本総研 岩崎 智彦 電中研 浅野 浩志
第2回	地球温暖化問題の対応策	H15/2/21 大阪	70	①京都議定書発効と今後の地球温暖化対策(基調講演) ②CO <sub>2</sub> の隔離技術 ③京都議定書における吸収源対策:合意内容と今後の課題 ④JI・CDMにおけるプロジェクトの動向 ⑤国内外における排出権取引の動向 ⑥民生・運輸部門における温室効果ガス削減策 ⑦廃棄物問題と京都議定書	RITE 茅 陽一 東工大 平井秀一郎 国環研 山形与志樹 NEDO 久留島守広 ナットソース・ジャパン 荒木 鑑 住環境研 中上 英俊 タクマ 益田 光信

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
平成15年度 第1回	生活とエネルギー	H15/10/31 大阪	70	①住宅のエネルギー消費 ②快適性と省エネの両立 ③暮らしから見たエネルギー環境 ④家庭における省エネルギー行動の評価 ⑤各種エネルギー供給システムの最適化 ⑥ESCO事業の現状と将来展望	大阪大 辻 毅一郎 京都大 銚井 修一 ライフマネジメント研 稲岡真理子 京都大 手塚 哲央 大阪府立大 伊東 弘一 ガスアンドパワーインベストメント 紫藤 悦雄
第2回	二酸化炭素の回収 と隔離技術	H16/2/26 東京	54	①総論 —CO <sub>2</sub> 回収・隔離の意義と総合的地球温暖化 対策技術の展望 ②CO <sub>2</sub> 回収技術の開発と動向 ③CO <sub>2</sub> の海洋貯留技術の開発動向と諸問 ④CO <sub>2</sub> の地中貯留技術の開発動向と諸問 ⑤ベントスに対する二酸化炭素の影響 ⑥石炭火力発電所におけるCO <sub>2</sub> 回収とLCA	東京工業大 岡崎 健 電中研 横山 隆壽 RITE 村井 重夫 RITE 大隅多加志 京都大 白山 義久 三菱重工 飯島 正樹
平成16年度 第1回	グリーン電力の意義 と課題	H16/10/22 東京	45	①国内外のグリーン電力プログラムの動向と背景 ②グリーン電力基金の現状と課題 ③グリーン電力証書の取り組みと展望 ④取引の現場から見たRPS制度の現状 ⑤RPS下の新エネルギー導入の定量分析 ⑥グリーン電力プログラムの普及促進について	エネ経研 工藤 拓毅 広域関東圏センター 黒岩 彰三 日本自然エネ 正田 剛 ナットソースJ 船曳 尚 電中研 西尾健一郎 資源エネ庁 中島 恵理
第2回	エネルギー・環境ビ ジネスに必要なMOT (技術経営)	H17/2/25 大阪	49	①技術経営(MOT)人材の育成 —従来の大学の枠組みにとられない産学連携による人材育成 ②企業戦略と技術経営 —日本企業のMOT実践の視点から ③新たなイノベーションを推進するMOT人材育成 —アイさぼーとMOT(技術経営)スクールの取り組み ④イノベーションとMOT —青色発光LED:日亜化学と中村修二さんのケース ⑤知的財産とMOT —キャノンの技術革新を支える 知的財産戦略	経済産業省 中西 宏典 アクセンチュア 三澤 一文 アイさぼーと 松本 毅 同志社大 山口 栄一 大阪工大 田浪 和生
平成17年度 第1回	エネルギー・資源問 題の見直し —化石資源の徹底 検証—	H17/10/28 大阪	60	①石油・天然ガスの資源問題とその展望 ②CO <sub>2</sub> 分離・回収技術を活用した石油増産技術の動向 ③石炭資源問題とその展望 —石炭を大切にかつ クリーンに使うために— ④二酸化炭素炭層固定化技術開発の現状と課題 ⑤非在来型エネルギー資源の展望 ⑥新種(化学合成)燃料技術開発動向	京都大 芦田 譲 三菱重工 飯島 正樹 京都大 三浦 孝一 環境総合テクノス 名子 雅夫 産総研 成田 英夫 JFEホールディングス 行本 正雄



年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
第2回	水素エネルギー社会への道 —ヨーロッパ調査を中心として—	H18/2/28 東京		①水素エネルギー社会の展望 ②欧州委員会の水素エネルギー政策 ③水素バス運用システム —ドイツ・ミュンヘン国際空港— ④欧州家庭用SOFCの可能性について —SULZER HEXIS社を視察して— ⑤バイオマスからの水素製造技術について —ブルータワープロセスを視察して— ⑥水素ステーションの安全性の検討 —フルモデル爆破実験視察— ⑦水素エネルギー社会に向けたアイスランドの取り組み	東京大 山地 憲治 東京大 浅野 浩志 日立製作所 國方 道雄 東京ガス 前田 賢二 電源開発 野口 嘉一 大阪ガス 嘉数 敬隆 名古屋大 鈴置 保雄
平成18年度 第1回	リサイクルと再資源化の制度・技術の動向と課題	H18/10/30 東京	57	①はじめに:リサイクルと再資源化の制度・技術の動向と課題 ②家電リサイクル制度をめぐる国際動向 ③家電リサイクル法施行から5年実績と課題 ④セメント産業における廃棄物の資源化有効利用 ⑤リサイクル制度と対応技術の動向と課題 ⑥自動車リサイクルにおけるASRガス化技術 ⑦バイオマス廃棄物の再資源化技術	東京理科大 森 俊介 日本電機工業会 齋藤 潔 三菱電機 上野 潔 太平洋セメント 和泉 良人 新日本製鐵 近藤 博俊 東芝 雨宮 隆 東京大 望月 和博
第2回	エネルギーの貯蔵の最前線	H19/2/9 大阪	75	①<電気エネルギーの貯蔵①>「次世代二次電池」 ②<電気エネルギーの貯蔵②>「スーパーキャパシタ」 ③<熱エネルギーの貯蔵①>「トランスヒートコンテナ 潜熱蓄熱材を利用した熱供給システム」 ④<熱エネルギーの貯蔵②>「雪冷熱」 ⑤<水素エネルギーの貯蔵①>「水素吸蔵材料」 ⑥<水素エネルギーの貯蔵②>「水素貯蔵・輸送」	産総研 辰己 国昭 関西大 石川 正司 三機工業 岩井 良博 若狭湾エネ研センター 大谷 暢夫 " 重田 達雄 産総研 栗山 信宏 岩谷産業 小川 敬
平成19年度 第1回	政府間気候変動パネル第4次評価報告書のメッセージ —課題と含意—	H19/10/22 東京	45	①はじめに:IPCC-AR4の持つ意味とポイント ②IPCC第一作業部会第4次報告書での新しい知見 ③WG-2:影響と適応についての知見 ④WG-3:長期排出軌道—長期的視点からみた緩和— ⑤IPCC第四次評価報告書WGⅢの第7章(産業部門)を中心として ⑥WG-3:国際制度 国際立法および国際法の履行に関する手続問題を中心として ⑦IPCC-AR4と我が国の今後の対応	環境省 塚本 直也 東京大学 住 明正 国立環境研究所 原沢 英夫 国立環境研究所 甲斐沼美紀子 東京大学 松橋 隆治 上智大学 村瀬 信也 産業技術総合研究所 西尾 匡弘
第2回	レアメタル資源の最前線	H20/2/15 東京	63	①金属資源の概要 ②湿式法によるレアメタル等のリサイクル技術 ③レアメタル資源をめぐる国際情勢 ④レアメタルの実情と日本の課題 ⑤レアメタル資源探査 ⑥レアメタル政策の現状と展望	京都大学 西山 孝 産業技術総合研究所 田中 幹也 丸紅 柴田 明夫 東京大学 岡部 徹 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 林 歳彦 経済産業省 岩野 宏

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
平成20年度 第1回	資源ナショナリズムの動きとエネルギー需給の動向	H20/10/30 東京	69	①資源ナショナリズムの動向とエネルギーの安全保障 日本エネルギー経済研究所 ②ロシア・メドベージェフ政権の誕生とエネルギー政策を巡る動き 環日本海経済研究所 ③中東・イランの核開発を巡る動き 日本エネルギー経済研究所 ④中国のエネルギー需要の増大と政策の対応 長岡技術科学大学 ⑤インドのエネルギー需給の現状とエネルギー政策の動き 日本エネルギー経済研究所 ⑥原油価格の高騰とその背景 日本エネルギー経済研究所	小山 堅 伊藤 庄一 田中浩一郎 李 志東 石田 博之 小林 良和
第2回	電動車両と二次電池	H21/2/24 大阪	60	①電気自動車への期待と展望 大阪府立大学 ②電動車両を中心とした次世代自動車の最新動向 日本自動車研究所 ③HV, EV, PHVの開発動向と展望 トヨタ自動車 ④バッテリーフォークリフトの技術動向 日本輸送機 ⑤電池駆動新型路面電車「SWIMO」および新型ニッケル水素電池「ギガセル」の開発 川崎重工業 ⑥中大形リチウムイオン電池の技術開発の動向 ジーエス・ユアサコーポレーション	南 繁行 荻野 法一 朝倉 吉隆 佐野 隆 堤 香津雄 村田 利雄
平成21年度 第1回	家電等リサイクルの現状と課題	H21/10/23 大阪	44	①家電メーカーのリサイクル関連技術紹介 パナソニック ②家電からの各種メタルの回収技術と経済性 田中貴金属工業 ③見直しを経た『家電リサイクル法』の現状と課題 国立環境研究所 ④国の資源確保策の一環としてのリサイクル技術開発の取り組み 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	小島 環生 奥田 晃彦 森口 祐一 目次 英哉
第2回	低炭素社会構築にむけたエネルギー・新技術開発の取り組み	H22/2/22 東京	63	①低炭素電力供給システム研究会報告書 経済産業省 ②低炭素社会におけるガス事業のあり方について 経済産業省 ③「低炭素社会を目指して」 —研究プロジェクト「低炭素社会に関する調査研究」— 名古屋大学 ④「低炭素社会に関するヨーロッパ調査」報告① —EUの低炭素化政策— 東京大学 ⑤「低炭素社会に関するヨーロッパ調査」報告② —ドイツカールスルーエ市における公共交通システム— 名古屋大学 ⑥「低炭素社会に関するヨーロッパ調査」報告③ —ドイツにおける大規模太陽光発電所の事例 SWT-Solkraftwerk IRT— 関西電力 ⑦「低炭素社会に関するヨーロッパ調査」報告④ —スウェーデンリンシュッピン市におけるバイオガス 事業プロジェクト— 東京ガス ⑧「低炭素社会に関するヨーロッパ調査」報告⑤—Statoil Hydro 社のCCSに関する取り組み— 中部電力 ⑨「低炭素社会に関するヨーロッパ調査」報告⑥ —Vestas Wind Systems 洋上風力発電— エネルギー戦略研究所	吉野 潤 畠山 一成 鈴置 保雄 松橋 隆治 鈴置 保雄 渡辺 敏緒 藤本 正之 渡邊 正裕 宇高 忠俊
平成22年度 第1回	エネルギービジネスの国際展開	H22/10/15 東京	50	①エネルギービジネスの世界状況と日本の対応 資源エネ庁 ②東京電力の国際展開について 東京電力 ③火力ビジネスの国際展開 日立製作所 ④海外火力発電所建設ビジネス事例紹介 東芝 ⑤エネルギー研究分野の国際協力・展開 IERE ⑥海外留学生の育成: 将来の国際ビジネス展開への布石 大阪大学	内野 泰明 松岡 聡 水野堅太郎 福本 達也 山中 俊幸 辻 毅一郎

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
第2回	低炭素型都市と次世代エネルギーシステム	H23/3/4 大阪	60	①電力系統と協調する地域エネルギーマネジメントの可能性 電力中央研究所 ②関西電力におけるスマートグリッドの取り組み 関西電力 ③次世代エネルギーシステムに関する大阪ガスの取り組み 大阪ガス ④けいはんな学研都市の次世代エネルギー・社会システム 実証実験について 関西文化学術研究都市推進機構 ⑤京都市の環境モデル都市の概要と取り組みについて 京都市 ⑥堺市の環境モデル都市の概要と取り組みについて 堺市	浅野 浩志 藤井 裕三 田村 英夫 山田 格 中山 雅永 酒井 隆
平成23年度 第1回	電動車両および周辺技術の最新動向	H23/10/21 大阪	54	①電気自動車の最新動向と展望 日本自動車研究所 ②プラグインハイブリッド車の現状と今後 —トヨタにおける 環境対応車の展開— トヨタ自動車 ③電気自動車などに使用される電池等の電源について 元パナソニック、大阪府立大学 ④ITと通信を融合した充電インフラシステムの形成 日本ユニシス ⑤交通シミュレータを用いた充電インフラ設置評価技術について 電力中央研究所	荻野 法一 川島 由浩 高田 寛治 岡 智史 日渡 良爾
第2回	全量買取制度による日本の再生可能エネルギーの新展開	H24/3/6 東京	107	①RPSから全量買取制度へ —制度設計の考え方— 地球環境産業技術研究機構 ②再生可能電源との連系における電力系統の対応 電力中央研究所 ③太陽光発電の現状と期待 NTTファシリティーズ ④風力発電ビジネス現状と今後の展開 日本風力発電協会（ユラステジ・ホールディングス） ⑤小水力発電の動向と導入拡大ポテンシャル 筑波大学 ⑥地域に根ざした再生可能エネルギーの仕組み作り 科学技術振興機構社会技術研究センター	山地 憲治 浅野 浩志 田中 良 永田 哲郎 小林 久 堀尾 正鞠
平成24年度 第1回	スマートコミュニティの要素技術・機器に関する技術動向	H24/10/26 東京	80	①スマートコミュニティの要素技術・機器 NEDO ②スマートメーター（AMI）とダイナミックプライシング 早稲田大学 ③センサネットワーク 実店舗への導入事例 セブン-イレブン・ジャパン ④HEMSにおける公知な標準インターフェース“ECHONET Lite” エコネットコンソーシアム ⑤電力貯蔵技術開発の動向と家庭用蓄電池システム 電力中央研究所 ⑥EVが創り出す未来が見えてきた —リーフにみるEV市場受容性と社会システムとしての展望— 日産自動車 ⑦知的生産性と照明制御 知的オフィス環境コンソーシアム ⑧事務所ビルにおけるエネルギー管理技術 アズビル	諸住 哲 林 泰弘 三谷 庸 平原茂利夫 池谷 知彦 近藤 晴彦 三木 光範 甘利 健
第2回 (見学会併催)	東日本大震災によるエネルギー供給インフラ設備の被害状況—地震・津波対策と今後の想定地震動・津波高さ—	H25/2/20 東京	42	①橋梁の津波被害分析 九州工業大学 ②電気設備地震対策WG報告書の概要 電気事業連合会 ③『東日本大震災を踏まえた都市ガス供給の 災害対策検討報告書』の概要 日本ガス協会 ④東日本大震災における製油所の被害と復旧 JX日鉱日石エネルギー ⑤東日本大震災を踏まえた今後の津波対策のあり方 富士常葉大学 ⑥首都直下地震被害想定 内閣府	幸左 賢二 豊馬 誠 岸野 洋也 永井 裕久 阿部 郁男 藤山 秀章

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
平成25年度 第1回	エネルギーシステム の新しいイノベーションの 流れ—技術面と 制度面からの検討—	H25/10/30 東京	55	①電力システムと再生エネルギーの拡大に関わる論点 ②グリーンイノベーションとエネルギーシステム ③次世代グリッドをめぐる最新動向 ④大阪ガスのスマートエネルギーネットワークへの取り組み ⑤海外のスマートコミュニティ事情 ⑥ネガワットアグリゲーションサービスについて —進化するスマートサービスと課題—	東京大学 大橋 弘 東京大学 松橋 隆治 東京電力 蘆立 修一 大阪ガス 松本 将英 エヌ・ティ・ティ・データ 村松 元司 NTTファシリティーズ 横山 健児
平成25年度 第2回	再生可能エネルギー導入の 国内外の現状と課題	H26/2/12 大阪	62	①再生可能エネルギー固定価格買取制度の現状と課題 ②EU-ETSと欧州の再生可能エネルギー政策の関連 ③再生可能エネルギー固定価格買取制度の改良に向けて ④再生可能エネルギーの利用について —研究プロジェクト「再生可能エネルギー利用に 関する調査研究」— ⑤「再生可能エネルギー利用に関するヨーロッパ調査」報告① —欧州電気事業における再生可能エネルギー電源の 系統連系問題の現状と課題について— ⑥「再生可能エネルギー利用に関するヨーロッパ調査」報告② —再生可能エネルギーコントロールセンターの役割について— ⑦「再生可能エネルギー利用に関するヨーロッパ調査」報告③ —バイオマス事業調査Rodenhuizeバイオマス発電所訪問報告— ⑧「再生可能エネルギー利用に関するヨーロッパ調査」報告④ —イタリアにおける地熱発電所について— ⑨「再生可能エネルギー利用に関するヨーロッパ調査」報告⑤ —スペインにおける太陽光発電— ⑩「再生可能エネルギー利用に関するヨーロッパ調査」報告⑥ —英国スコットランド『オークニー諸島における 再生可能エネルギー利用の現状』について	地球環境産業技術研究機構 山地 憲治 日本エネルギー経済研究所 工藤 拓毅 電力中央研究所 朝野 賢司 名古屋大学 鈴置 保雄 電力中央研究所 浅野 浩志 中国電力 横山 弘志 東京ガス 天野 寿二 大阪ガス 山崎 修 日本エヌ・ユー・エス 近本 一彦 関西電力 西川 徳裕
平成26年度 第1回	IPCC第5次評価報告書の深い理解に 向けて—統合報告書完成を受けて—	H26/11/14 東京	57	①基礎講演「IPCCとその第5次報告書」 ②IPCC第5次評価報告書 第一作業部会報告書(自然科学的根拠)の概要 ③気候変動は人間自然系にリスクをもたらす—IPCC AR5 WG II— ④気候変動影響・適応②(地域別影響) ⑤WG3気候変動緩和策—長期シナリオ— ⑥IPCC第5次評価報告書 第三作業部会(気候変動の緩和)について ⑦IPCC第5次評価報告書 第三作業部会10章『産業』 ⑧第13,14,15章世界, 地域および国家の政策と制度	地球環境産業技術研究機構 茅 陽一 国立環境研究所 江守 正多 東京大学 沖 大幹 国立環境研究所 脇岡 靖明 地球環境産業技術研究機構 秋元 圭吾 国立環境研究所 甲斐沼美紀子 科学技術振興機構 田中加奈子 電力中央研究所 杉山 大志

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
平成26年度 第2回	燃料電池自動車と 電気自動車の最新 動向	H27/3/19 大阪	38	①EV・PHV・FCV充電・水素インフラの最新動向 次世代自動車振興センター ②Hondaにおける燃料電池自動車の開発と普及に向けて 本田技術研究所 ③電気自動車の現在と今後 日産自動車 ④水素インフラ整備の取り組みについて 岩谷産業 ⑤電気自動車の本格的普及に向けた充電インフラ整備 電力中央研究所	荻野 法一 小谷 保紀 朝日 弘美 梶原 昌高 池谷 知彦
平成27年度 第1回	再生可能エネル ギー利用に関する 第2回ヨーロッパ調 査成果報告	H27/10/27 大阪	31	①エネルギー・資源学会研究プロジェクト 『再生可能エネルギー利用に関する調査研究』海外調査 名古屋大学 ②Gothenburg Bio-Gas (GoBiGas) Project 鹿島建設 (株) ③FordonsGas社の給ガスステーション -バイオ由来メタンの供給- (株) テクノバ ④配電会社EWE NETZ(ドイツ)における 再生可能エネルギー大量導入時の系統安定化対策 東邦ガス (株) ⑤Audi E-gas Plant (ドイツ: Werlte) 調査報告 川崎重工業 (株) ⑥リヨン・コンフルエンス地区 スマートコミュニティ実証事業 アズビル (株) ⑦ENI SpAにおけるバイオリファイナリー 大阪ガス (株)	鈴置 保雄 小野 永吉 亀井 淳史 山脇 宏 小山 優 福田 一成 山崎 修
平成27年度 第2回	いよいよ始まる電力 小売全面自由化と ガス自由化の最前 線	H28/3/14 (月) 東京	63	①電力システム改革 ～ 電力小売全面自由化について ～ 経済産業省 資源エネルギー省 ②電力自由化における 電力広域的運営推進機関の役割 電力広域的運営推進機関 ③電力小売全面自由化の概況と東京ガスの取組み 東京ガス(株) ④電力システム改革の課題 東京電力(株) ⑤ガス規制改革の課題 兵庫県立大学	小川 要 石坂 匡史 笹山 晋一 戸田 直樹 草薨 真一
平成28年度 第1回	来るべき低炭素社 会における新しいモ ビリティとエネルギー	H28/10/26 (水) 東京	38	①低炭素社会に向けた自動車分野の施策 国土交通省 ②自動車道路交通とそのエネルギー消費の特性 東京大学 ③J R東日本の研究開発におけるエネルギー戦略 東日本旅客鉄道(株) ④IoT車両情報の社会応用に向けて トヨタ自動車(株)	高井 誠治 大口 敬 大泉 正一 高原 勇
第2回	建築物の省エネ・環 境評価と実施例	H29/3/2 (木) 大阪	34	①建築総合環境性能評価システム (CASBEE) について 建築環境・省エネルギー機構 ②大型商業施設の環境計画の取り組み～イオンモール堺鉄砲町～ (株)竹中工務店 ③ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター (株)日建設計 ④大阪ガス (株) 北部事業所スマートエネルギービルと 行動観察手法による省エネ行動促進 大阪ガス(株) 〃	吉澤 伸記 安心院 智 田中 宏昌 中嶋 俊介 庄司 祐子

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
平成29年度 第1回	2050年のエネルギー需給を考える	H29/11/24 (金) 東京	51	総論:わが国における2050年のエネルギー需給検討状況 ①2050年における太陽光発電導入量の推定 ②2050年における風力発電導入量の推定と風力発電の制御機能 ③2050年における民生部門需要の分析 ④2050年における電力需給の分析 ⑤2050年における日本のエネルギー需給分析	東京大学 岩船由美子 Mott MacDonald Japan 松川 洋 東京大学 斉藤 哲夫 大阪大学 山口 容平 東京大学 荻本 和彦 エネルギー総合工学研究所 黒沢 厚志
第2回	スマートエネルギーシステムに関するヨーロッパ調査成果報告	H30/3/9 (金) 東京	44	①スマートエネルギーシステムに関するヨーロッパ調査 ②最近のスマートエネルギーに関する動向 ③Innogy社の超電導送電システム(AmpaCity) ④Eneco洋上風力発電事業 ⑤E.ON社のバイオガス生産・都市ガス管注入プラント ⑥Hydrogenics社の水電解装置工場と事業戦略について ⑦Power to Gas視察報告—Uniper WindGas project—	電力中央研究所、東京大学、東京工業大学 浅野 浩志 新エネルギー・産業技術総合開発機構 諸住 哲 日本・エヌ・ユー・エス(株) 近本 一彦 中部電力(株) 中野 将義 住友商事グローバルリサーチ(株) 宮之原正道 (株)竹中工務店 西端 康介 川崎重工業(株) 岡内 宏憲
平成30年度 第1回	スマートメータ・EMSデータの分析手法及び活用可能性	H30/10/15 (月) 東京	69	①スマメータ・EMSデータ分析に基づく省エネサービスの国内外動向 ②情報提供サービスに資するスマメータ分析 稼働日推定・簡易用途分解・需要予測の検討 ③SII公開BEMSデータの基礎分析:多様なデータのクラスタリングによる 需要レベル・パターン分別と外れサンプル除去 ④スマートメータを活用した省エネ情報提供と行動科学 ⑤スマートメータ・EMSデータの分析手法及び活用可能性 —住宅用スマートメータを活用した用途分解手法— ⑥スマートメータデータ等を活用した電力ディスアグリゲーション・ 家庭向けサービス	電力中央研究所 木村 宰 電力中央研究所 小松 秀徳 会津大学 大藤 建太 電力中央研究所 西尾健一郎 東京大学 岩船由美子 中部電力(株) 市川 英弘
令和1年度 第1回	パリ協定長期戦略と2050年のエネルギー	R2/1/21 (火) 東京	39	①～エネルギーポリシーの確立のために～ 今後必須のイノベーションを予測する ②電力システムにおける課題と2050年の電力需給 ③2050年に向けた運輸部門の変化の可能性:政策、技術、シナリオ、モデル ④民生部門詳細分析による低炭素化の可能性 ⑤気候変動対策と国際標準化 —GHGアカウンティングから適応・金融分野への展開—	持続性推進機構 安井 至 東京大学 小宮山涼一 地球環境産業技術研究機構 魏 啓為 大阪大学 下田 吉之 日本エネルギー経済研究所 工藤 拓毅

年度	テーマ	月日 場所	参加者	講演題目	講師
令和1年度 第2回 (都合により延期)	スマートエネルギーシステムに関するアメリカ調査成果報告	R2/3/16 (月) 東京	-	①カリフォルニアにおけるスマートエネルギーに関する動向 電力中央研究所 ②カリフォルニア大学デービス校におけるゼロエネルギーコミュニティへの取り組みと、電気自動車の研究成果について (株)竹中工務店 ③サクラメント電力公社における脱炭素へ向けた取り組み 中部電力(株) ④サンディエゴガス&エレクトリック社におけるレドックスフロー電池等を用いた蓄電システム 日本エヌ・ユー・エス(株) ⑤UC Irvine, National Fuel Cell Research Centerにおける燃料電池を中心としたエネルギーシステムに関する取り組みについて JXTGエネルギー(株)	浅野 浩志 西端 康介 中筋 昭宏 近本 一彦 森田 圭
令和2年度 第1回	スマートエネルギーシステムに関するアメリカ調査成果報告	R2/11/9 (月) オンライン	26	①カリフォルニアにおけるスマートエネルギーに関する動向 電力中央研究所 ②カリフォルニア大学デービス校におけるゼロエネルギーコミュニティへの取り組みと、電気自動車の研究成果について (株)竹中工務店 ③サクラメント電力公社における脱炭素へ向けた取り組み 中部電力(株) ④サンディエゴガス&エレクトリック社(SDG&E)におけるレドックスフロー電池等を用いた蓄電システム 日本エヌ・ユー・エス(株) ⑤UC Irvine, National Fuel Cell Research Centerにおける燃料電池を中心としたエネルギーシステムに関する取り組みについて ENEOS(株)	浅野 浩志 西端 康介 中筋 昭宏 近本 一彦 森田 圭
令和2年度 第2回	新型コロナウイルス感染拡大によってエネルギーと社会はどう変わるのか？	R3/3/1 (月) オンライン	43	①コロナショックが日本経済・産業に及ぼすインパクト みずほ総合研究所(株) ②COVID-19がもたらした、人出の変化と電力需要構造の変容 エネルギー総合工学研究所 ③輸送用燃料を中心とする石油需要へのコロナ禍の影響 日本エネルギー経済研究所 ④在宅勤務による民生部門エネルギー需要の変化 大阪大学 ⑤分散型社会像に関する一考察—コロナ後の暮らしや社会の姿— 電力中央研究所 ⑥地球温暖化をめぐる内外情勢と日本の課題 東京大学	酒井 才介 井上 智弘 橋爪 吉博 山口 容平 中野 一慶 有馬 純
令和3年度 第1回	第6次エネルギー基本計画	R3/11/22 (月) オンライン	79	①第6次エネルギー基本計画について 経済産業省資源エネルギー庁 ②エネルギー基本計画における省エネルギー 早稲田大学 ③エネルギー基本計画における再生可能エネルギー 東京大学 ④我が国の原子力政策について(ビデオ講演) 内閣府原子力委員会 ⑤エネルギー基本計画について 原子力エネルギーを中心に(ビデオ講演) 東京大学 ⑥「統合の限界運用コストを含む発電コスト評価」からのメッセージ 東京大学 ⑦2050年カーボンニュートラル分析 地球環境産業技術研究機構 ⑧第6次エネルギー基本計画の問題点(ビデオ講演) 国際大学	西田 光宏 田辺 新一 岩船由美子 上坂 充 山口 彰 荻本 和彦 秋元 圭吾 橋川 武郎